

文化生涯学習課

1 文化振興事業

予算科目(款・項・目) 10・35・05 [決算書141ページ]

市民に文化芸術に触れる機会を提供するため、様々な文化振興事業を実施するもの

(1) 彫刻のある街づくり事業

多摩川桜堤通りに設置している10体の彫刻作品の維持管理を行った。

作品名及び作者は、次のとおり

ア	「H a r m o n y」(ステンレススチール製)	松本 憲宜
イ	「生命の樹と授かりものたち」(ブロンズ製)	松本 雄治
ウ	「花の柱」(本小松石製)	平山 隆也
エ	「リバイアサン」(ブロンズ, 河原石製)	天野 裕夫
オ	「風のフォルム」(赤みかげ石製)	須藤 博志
カ	「童の夢」(黒みかげ石, 白みかげ石製)	宮澤 光造
キ	「プリアテル」(ブロンズ製)	前田 忠一
ク	「大地の使者」(黒みかげ石製)	鈴木 武右衛門
ケ	「N y m p h」(黒みかげ石, 桜みかげ石製)	平井 一嘉
コ	「町村制100周年記念碑」(ブロンズ製)	作者不詳

(2) 姉妹都市等交流事業

調布市の姉妹都市である長野県木島平村と、市民と村民との相互理解と交流を図るため、文化活動を中心とする交流事業を実施した。

ア 姉妹都市交流事業

(ア) 姉妹都市木島平村体験バスツアー

市民に姉妹都市木島平村の魅力を知っていただき、市民と村民との交流を深めるため実施している木島平村へのバスツアー事業を実施した。

事業名	実施日	参加者数(人)	事業概要
木島平村体験バスツアー「ブナの森植樹体験ツアー」	10月5・6日	20	馬曲温泉等を満喫してもらうほか、カヤの平高原でのブナの植樹を実施
木島平村体験バスツアー「家族で木島平!スキー・スノーボードツアー」	2月28日～3月2日	89	家族で木島平村のスキー場を楽しんでもらうためのリフト券付きのフリープラン

(イ) 調布・木島平交流クラブバスツアー

調布・木島平交流クラブとの共催により、木島平村へのバスツアーを3回実施した。

事業名	実施月日	参加者数(人)	事業概要
田植え体験バスツアー	6月1・2日	39	田植え体験, 野菜収穫体験等の実施

稲刈り体験バスツアー	10月5・6日	36	稲刈り体験, 田中本家博物館の見学等の実施
リンゴ狩り体験バスツアー	11月2・3日	38	内山手すき和紙体験の家での体験, 戸隠神社の見学, リンゴ狩り等の実施

イ 姉妹都市交流事業助成

木島平村との文化, スポーツ, 教育等を通じた交流事業を行う各種団体に対し事業費を助成するもの

助成団体数 なし

ウ 姉妹都市宿泊費助成事業

市内在住・在勤・在学者等が, 木島平村内の指定された宿泊施設に宿泊する際の宿泊費を助成した。

延べ利用泊数 1, 208泊 (うち, 中学生72泊, 65歳以上307泊, その他829泊)

(3) 平和祈念事業

調布市国際交流平和都市宣言及び調布市非核平和都市宣言の理念に基づき, 幅広い年齢層の市民に平和について考える機会を提供するため, 各種平和事業を実施した。

また, 「平和首長会議 (平成22年加盟)」や「日本非核宣言自治体協議会 (令和3年加入)」の加盟自治体として, 世界の恒久平和を希求する自治体との連携や平和交流を実施した。

ア 中学生被爆地平和派遣事業 (ピースメッセンジャーの取組)

次代を担う子どもたちを被爆地へ派遣し, 戦争・平和に関する現地施設の見学等を通じて, 戦争の悲惨さや平和の大切さについて肌で学ぶ機会を設け, その成果を広く市民へ還元することを目的に実施するもの

市内在住・在学の中学生を市民の代表“ピースメッセンジャー”として長崎へ派遣し, 長崎原爆資料館や平和公園を見学した。また, 青少年ピースフォーラムに参加し, 被爆体験講話の聴講や他自治体から参加している青少年と交流した。

派遣の前後の学習会をはじめ, 子どもたちの学習支援としてNPO法人ちょうふこどもネットと連携し, 派遣後は, 文化会館たづくりエントランスステージで活動報告会を実施したほか, 市内外の公共施設等でピースメッセンジャー及びピースメッセンジャージュニアが作成したメッセージボードの展示を実施し, 学びの成果を広く市民へ還元した。

派遣実施日 令和6年8月8日から同月10日まで

参加者数 11人

イ ピースメッセンジャージュニアの取組

FC東京との連携により, FC東京の夏のアウェイゲーム開催にあわせて市内在住・在学の小学生 (5・6年生) を“ピースメッセンジャージュニア”として広島へ派遣し, サッカーJリーグの競技観戦や平和祈念施設の見学などの平和学習を予定していたが, 台風第10号の接近に伴い, 広島への派遣は中止とした。代替事業として都内の戦争関連施設を見学し, 学びの成果をFC東京第4回青赤ストリートの会場内のステージで発表した。

都内資料館見学実施日 令和6年11月23・24日

参加者数 10人

ウ 「ちょうふピース部」の取組

これまでに任命されたピースメッセンジャーたちが、派遣された年度以降も継続的に活動ができるよう、支援している。ピースメッセンジャーの学習会のサポートや交流を行ったほか、市が毎年発行している平和祈念情報誌「ピース・レターちょうふ」の特別版を作成した。

エ 平和祈念情報誌「ピース・レターちょうふ」の発行

夏の平和事業の紹介及び平和に関する情報を発信するため「ピース・レターちょうふ」を発行した。

発行 令和6年7月

発行部数 17,500部

オ 調布っ子“平和なまち”絵画コンテスト

平和首長会議が実施する「子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト」に応募する作品を選定するため、市内在住・在学の子どもの対象に作品を募集した。各部門に市独自の賞を設け、受賞者10人に表彰状を授与した。

実施期間 令和6年7月8日から同年9月30日まで

募集部門 6歳～10歳の部, 11歳～15歳の部

応募数 全45作品

賞名 調布市長賞

調布市議会議長賞

調布市教育長賞

調布市文化・コミュニティ振興財団理事長賞

調布市文化協会会長賞

カ 調布市平和展

戦争による被害の実相や次代を担う子どもたちの平和への想い等、展示を通して様々な角度から戦争・平和について学び、考える機会として開催した。原爆に関する資料やピースおおさか 大阪国際平和センターから借用した「地域紛争下の子どもたちのパネル」、子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト応募作品のほか、市の平和に関する各種取組について展示した。

また、調布市原爆被害者の会の協力の下、被爆体験者による講話を開催した。

開催日 令和6年8月6日から同月12日まで

会場 文化会館たづくり2階 南ギャラリー

来場者数 324人

キ 平和事業連絡会

平和祈念事業を実施している関係各課（館）と、所管する事業について書面で情報共有を行った。

開催回数 2回

ク 調布市平和デジタルアーカイブ構築に向けた検討

戦後80年の節目を機に、平和や国際交流に関する資料の保存や展示機会の充実の観点から、資料のデジタル技術を活用した保存や、映像配信等のデジタル技術を活用した事業展開を行うため、調布市平和デジタルアーカイブを構築するための検討を行った。

ケ 平和都市宣言パネルの更新

各地域福祉センターに設置されている劣化した平和都市宣言パネルの更新を行った。今年度は、10箇所の地域福祉センターのうち、西部、調布ヶ丘、染地、富士見、下石原の5箇所を更新した。

コ その他の平和祈念事業

事業名	実施月日	会場	事業概要
防災行政無線による黙とうの呼びかけ	8月6日, 9日,15日, 3月10日		広島・長崎への原爆投下, また, 東京大空襲で犠牲となった方々の御冥福を祈るとともに, 世界の恒久平和の実現を祈念するため, 防災行政無線による黙とうの呼びかけを行った。呼びかけは, ピースメッセンジャー2024が行った。
平和祈念祭での展示	11月8日	文化会館たづくり	調布市遺族厚生会と調布市の共催で実施した平和祈念祭にて, ピースメッセンジャー2024, ピースメッセンジャージュニア2024が作成したメッセージボードや活動パネルを展示した。
第12回平和首長会議国内加盟都市会議総会での展示	1月16日	武蔵野市民文化会館	平和首長会議主催の第12回平和首長会議国内加盟都市会議総会にて, ピースメッセンジャー2024, ピースメッセンジャージュニア2024が作成したメッセージボードや活動パネルを展示した。

(4) パラハートちょうふ関連事業

共生社会の充実に向け市が掲げる「パラハートちょうふ」の理念のより一層の普及啓発を図るため、各種事業を実施するもの

文化芸術の振興による共生社会の充実に向けて、多様な主体との連携により、多彩なアートとの出会いを通じて、「パラハートちょうふ」を広める取組を「パラハートちょうふ meets ART」と題し、パラアート展2024を実施した。

市内の福祉作業所等で活動する方々のアート作品の展示を調布市福祉作業所等連絡会と共催により実施し、作業所等が日常の活動の中で制作した作品を展示する「自由制作部門」と新たに調布ゆかりのスポーツ団体や企業が表彰を行う「アワード部門」を設けて実施した。アワード部門において受賞した作品は、パラアート展開催後、各アワード授与団体の所有施設等でも展示を行うことで、取組を知ってもらう機会とした。

また、「調布よさこい」と協力開催として実施し、よさこいイベント会場において、パラアート展2022で制作した大旗を使用するなどの連携を図った。加えてパラアート展開催後、トリエ京王調布での作品展示やアワード部門受賞作品を活用した文化会館たづくりの館

内装飾等を行い、取組の普及啓発に努めた。

開催期間 令和6年8月20日から同月25日まで

会場 文化会館たづくり南北ギャラリー

来場者数 2,816人

(5) 文化・芸術団体事業助成

ア 深大寺短編恋愛小説

深大寺の由来として今も伝わる「深大寺縁起絵巻」の恋物語を企画の拠りどころとし、「恋愛」をテーマに、「深大寺地域」を舞台とした小説を公募するもの。622作品の応募があり、6作品が入賞した。

イ 調布市文化協会との連携

事業名	実施月日	会場	事業概要
他縣市文化協会との研修交流	6月3日	群馬県館林市文化会館	他自治体文化協会との情報共有や交流を図るもの 令和6年度は、館林市文化協会と交流を実施した。
第40回木島平村夏祭り	8月10日	ケヤキの森公園(長野県木島平村)	姉妹都市の長野県木島平村の夏祭りに参加するもの
第69回調布市民文化祭	10月17日 ～11月17日	文化会館たづくり、 グリーンホールほか	市民の文化活動の発表の場として、実行委員会を組織し市民文化祭を開催した。

(6) 調布市文化芸術推進ビジョン(令和7年度～令和12年度)の策定

調布市では、文化芸術基本法及び障害者による文化芸術活動の推進に関する法律に定められた文化芸術に関する施策の推進、障害者の文化芸術活動に関する施策等の国や東京都の政策動向及び文化権等の考え方を踏まえ、とりわけ次代を担う若年層へと地域の伝統文化を継承し、文化芸術を通して心の豊かさと創造性を育み、多様性を尊重する環境整備に努めてきた。これまでの文化芸術の取組を体系的に整理するとともに、関連分野との連携を図りながら、今後も、発展的に文化芸術の推進に取り組んでいくため、中長期的に基本的な方向を示す計画である「調布市文化芸術推進ビジョン」について、新たに策定した。

ア パブリック・コメントの実施

(ア) 実施期間 令和6年12月10日から令和7年1月20日まで

(イ) 意見提出者数及び提出意見数 4人(10件)

イ 調布市文化芸術推進ビジョン策定検討委員会の開催

(ア) 概要 調布市文化芸術推進ビジョンの策定に向けて、必要な事項を調査検討するもの

(イ) 委員構成等 学識経験者(3人)、文化芸術団体(2人)、福祉団体(1人)、教育機関(2人)、市民(2人)をもって組織 男3人、女7人

ウ 開催回数 3回

	実施月日	内容
第1回	6月27日	・(仮称)調布市文化芸術推進ビジョン(骨子案)について ・文化に関するアンケート調査について ・市内文化団体等ヒアリング調査について
第2回	10月30日	・(仮称)調布市文化芸術推進ビジョン(骨子)について

第3回	3月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリック・コメント実施結果について ・調布市文化芸術推進ビジョン(案)について ・今後のスケジュールについて
-----	-------	--

2 国際交流事業 予算科目(款・項・目) 10・35・05 [決算書141ページ]

調布市国際交流協会における組織体制の見直しを機に令和6年度から新たに公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団の事業に国際交流事業を位置づけ、多文化共生を推進するもの

(1) 外国人専門家相談会

外国人支援及び多文化共生の推進を図るため、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団に設置している国際交流センターに業務委託を行い、弁護士、行政書士等の専門家が一堂に会し、多言語の通訳ボランティアによる協力の下、外国人住民が抱える多岐に渡る悩みや生活相談に対応する「外国人のための専門家相談会」を実施した。

なお、(一財)東京都つながり創生財団が都内で実施される同様の取組をとりまとめて情報発信している「外国人のためのリレー専門家相談会」との連携事業とし、外国人の相談機会の確保につなげた。

事業名	実施月日	会場	参加者数(人)	事業内容
外国人専門家相談会	12月21日	文化会館 たづくり	22	英語, 中国語, タガログ語, タイ語に対応可能な通訳ボランティアを配置して実施した。

(2) 共催事業

国際交流センターとの共催事業として、以下の事業を実施した。

事業名	実施月日	会場	参加者数(人)	事業内容
「やさしい日本語研修」	2月13日	文化会館 たづくり	39 ※監理団体職員, 国際交流センター 会員含む	前年度に引き続きやさしい日本語アドバイザーを講師に、市職員及び関連団体合同の研修会を実施し、「やさしい日本語」の普及・啓発に取り組んだ。行政文書をやさしい日本語に翻訳し、言い換えた内容が、当日参加した国際交流センターの外国人会員に通じるか確認しながら取り組んだことで、実践的な演習の場になった。

(3) その他の国際交流事業

事業名	実施月日	会場	参加者数(人)	事業内容
-----	------	----	---------	------

国際理解講座 2024～パリルー マニア正教会聖 歌隊を迎えた国 際交流～	5月17日	グリーン ホール	410	日本・ルーマニア協会の 協力の下、来日するルー マニア正教会所属の聖歌隊 「パリルーマニア正教会 聖歌隊」によるコンサー トを交えた国際理解講座 を開催した。
---	-------	-------------	-----	---

(4) サウジアラビア王国との交流

2002 FIFAワールドカップ日韓大会時に調布市がサウジアラビア王国代表チームのキャンプ地となったことを契機に交流が始まったもの

ア 在日サウジアラビア王国大使館訪問

調布市サウディアラビア友好会との共催で、小中学生を対象に、国際交流と異文化理解を図るため実施した。

実施年月日 令和7年3月26日

参加者数 19人（市内在住・在学の小学4年生から中学3年生までとその保護者）

(5) ウクライナ避難民への支援

ウクライナから避難された方の市内における当面の生活を支援するため、国際交流センターの協力による日本語学習支援や翻訳・通訳サポート支援等の取組を実施した。また、東京都と連携した情報共有により、ウクライナ避難民の方の交流の場を提供した。

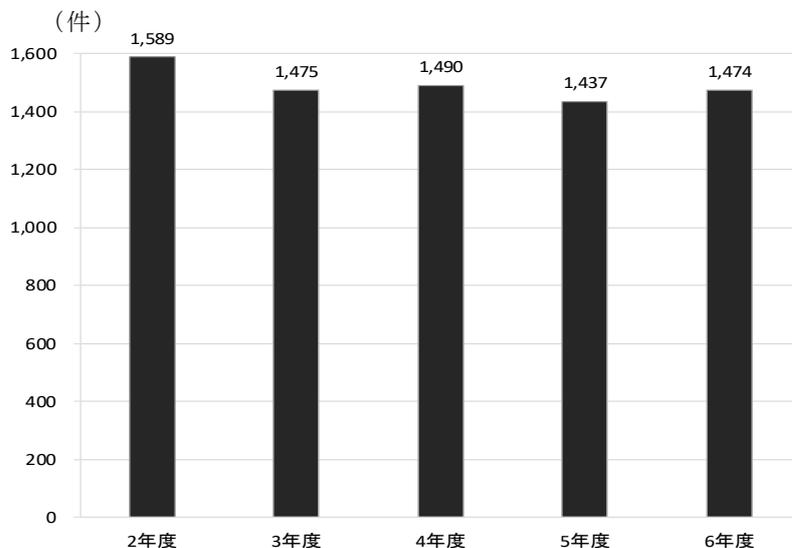
3 消費生活対策事業 予算科目（款・項・目）10・35・10〔決算書143ページ〕

(1) 消費生活相談

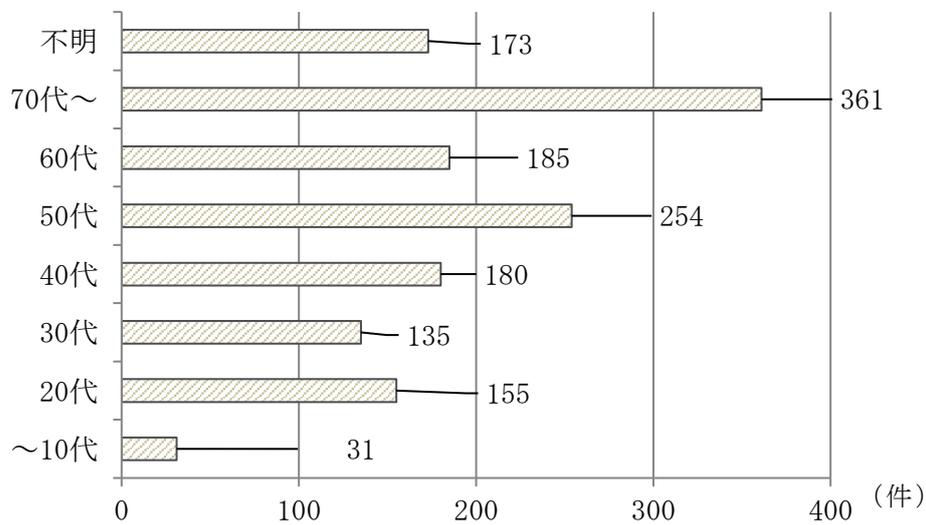
市民の消費生活の安定と向上を確保するため、消費生活センターを設置し、専門の資格を有する消費生活相談員が、来所、電話による相談を受け付けるとともに、消費者トラブルの未然防止のため、市報及び市ホームページのコラム執筆や、調布FMへの出演のほか、出前授業等による消費者啓発をするもの

相談員体制 月曜日から金曜日まで3人、第2土曜日午前中2人

ア 年間相談件数の推移



イ 年代別件数



ウ 処理結果別相談内訳

種類	件数 (件)	割合 (%)
他機関紹介	42	2.85
助言 (自主交渉)	1,248	84.67
その他情報提供	30	2.04
あっせん解決	110	7.46
あっせん不調	10	0.68
処理不能	10	0.68
処理不要	17	1.15
継続	7	0.47
合計	1,474	100.00

※ 「他機関紹介」とは、センターの相談処理業務の範囲外の相談内容で、賃金不払いの苦情に対し、労働基準監督署を紹介した事例等

※ 「助言 (自主交渉)」とは、相談員のアドバイス等により、相談者が事業者に自ら交渉することで解決したもの

※ 「その他情報提供」とは、センターの相談処理業務の範囲内の相談内容で、あっせん・助言 (自主交渉) に該当しない多重債務に係る一般的な相談先である法テラス等を情報提供した事例等

※ 「あっせん解決」とは、相談員が相談者と事業者の間に入ることで、解決がみられたもの

※ 「あっせん不調」とは、インターネット通販の定期購入等において、事業者があらかじめ定めた返品特約を踏まえて相談者が契約した相談内容で、相談者と事業者との間で解決に至らなかった事例等

※ 「処理不能」とは、相談者に連絡が取れなくなった等の物理的理由で処理できなかったもの

※ 「処理不要」とは、相談者が単にセンターに情報を提供しただけであり、処理を望んでいないもの

※ 「継続」とは、引き続き相談を行っているもの

エ 商品別相談内訳

商品大分類	件数 (件)	割合 (%)
-------	--------	--------

商品一般	122	8.28
食料品	85	5.77
住居品	86	5.83
光熱水品	37	2.51
被服品	91	6.17
保健衛生品	90	6.10
教養娯楽品	113	7.67
車両	18	1.22
土地建物	54	3.66
他の商品	0	0.00
クリーニング	6	0.41
レンタルリース	94	6.38
工事建築	47	3.19
修理補修	34	2.31
管理保管	6	0.41
役務一般	10	0.68
金融保険	66	4.48
運輸通信	120	8.14
教育	7	0.47
教養娯楽	134	9.09
保健福祉	97	6.58
他の役務	110	7.46
内職副業	14	0.95
他の行政	10	0.68
他の相談	23	1.56
合計	1,474	100.00

オ 内容別相談内訳（複数回答）

相談内容分類	件数（件）	割合（％）
安全衛生	37	1.43
品質機能	163	6.32
法規基準	11	0.43
価格料金	230	8.91
計量量目	1	0.04
表示広告	157	6.09
販売方法	578	22.40
契約解約	1,201	46.55
接客対応	171	6.63
包装容器	0	0
施設設備	7	0.27
買物相談	9	0.35
生活知識	2	0.08
その他	13	0.50
合計	2,580	100.00

(2) 消費者教育事業

消費者教育の推進に関する法律を踏まえ、広く市民が消費生活に関する様々な知識を習得し、自主的な判断・行動により、消費生活を営むことができるように各種事業を実施するもの

ア 夏休み親子消費者講座（開催1回，30人（15組））

事業名	実施月日	会場	参加者数 (人)	事業目的	講師名
DNAってなんだろう	8月2日	文化会館 たづくり 1002学習 室	30	ブロッコリーを使ってDNAをとりだし、DNAの構造を模したビーズのストラップをつくる。 DNAについての興味と理解を深めつつ、食の安全性を学び、日常の食生活について考える。	科学読物研究会 坂口 美佳子氏

イ 消費者講座（開催6回，140人）

事業名	実施月日	会場	参加者数 (人)	事業目的	講師名
消費者講座 「健康食品とサプリメントの上手な付き合い方」	7月2日	文化会館 たづくり 映像シアター	36	普段よく目にする健康食品とサプリメントの種類や使用方法、違いなどを知ることで、健康食品やサプリメントとの上手な付き合い方について学ぶ。	一般社団法人 日本臨床栄養協会 林 美代子氏
東京都・調布市共催講座 「キャッシュレス決済の正しい使い方」	9月19日	文化会館 たづくり 1002学習 室	13	多様化するキャッシュレス決済の種類や仕組みなどを知ることで、加速するデジタル時代の支出管理を学ぶ。	山本国際コンサルタント 同会社 代表 山本 正行氏
消費者講座 「エシカル消費に向けて私たちにできること」	10月24日	文化会館 たづくり 映像シアター	11	SDGsとエシカル消費の違いや、エシカル消費を進めるために自分たちでできることを学ぶ。	公益財団法人 日本消費者アドバイザー・ コンサルタント・相談員協会 樽谷 俊彦氏
消費者講座 「高齢者向け住宅の基礎知識と賢い選び方」	1月29日	文化会館 たづくり 映像シアター	30	高齢者向け住宅の基礎知識と賢い選び方について学ぶ。	公益社団法人 全国有料老人ホーム協会 参与 倉田 久氏

消費者講座 「人生100年時代 ゼロから始める資産運用の注意点」	2月13日	文化会館 たづくり 映像シアター	17	資産運用の専門的知識を学びながら、金融・経済に関する正しい知識の習得及び健全な価値観を養成する。	J-FLEC講師 向藤原 寛氏
東京都の消費者問題を楽しく学ぶ出前寄席！漫才「レンジ」でボンッ！～製品事故にご用心～	3月14日	文化会館 たづくり 大会議場	33	消費者に有益な情報、悪質商法の手口や実態、対応策等を題材にし、漫才をとおして分かりやすく伝え、消費者被害の未然防止等を図る。	出前寄席 いち・もく・さん

ウ 出前講座（開催8回、参加者939人）

消費者の自立を支援するため、消費生活に関する知識の普及及び情報の提供等消費者に対する啓発活動を推進するとともに、消費者が生涯にわたって消費生活について学習できるよう支援する。

また、出前講座のうち1回は、成年年齢が引き下げられたことを踏まえ、調布市相互友好協力協定を結んでいる電気通信大学の入学ガイダンスで、若者向け消費者被害防止講座「若者の消費者講座～消費者トラブルにあわないために～」を実施した。

電気通信大学入学ガイダンス

開催日 令和6年4月6日 参加者 会場参加694人

会場 電気通信大学

エ 出前授業（開催5回、参加者816人）

消費者教育の推進に関する法律に基づき、市教育委員会と連携し、成年年齢引き下げに伴う消費者トラブルの未然防止に向け、若年層への消費者教育を実施した。

(ア) 調布市立第三中学校

開催日 令和6年11月11日

1年生232人 テーマ「ネットのトラブル、こんなときどうする？」

(イ) 調布市立杉森小学校

a 開催日 令和6年12月3日

6年生119人及び保護者52人 テーマ「お金とネットに強くなろう」

b 開催日 令和6年12月9日

5年生110人及び保護者39人 テーマ「お金とネットに強くなろう」

(ウ) 調布市立第六中学校

開催日 令和6年12月20日

1年生123人 テーマ「ネットのトラブル、こんなときどうする？」

(エ) 調布市立若葉小学校

開催日 令和7年3月12日

6年生141人 テーマ「お金とネットに強くなろう」

オ 調布市消費者団体連合会との連携

消費生活の安定及び向上を図るため、消費者被害防止の啓発活動をするもの

(ア) バス見学会

開催日 令和6年10月28日 参加者30人

見学場所 造幣局さいたま支局 他

目的 生活に不可欠な貨幣について学ぶ

(イ) 消費者のつどい

「健康チェック」で自分の体を知り、「おりがみ講座」で指先を動かし、春の花を折り季節感を養いつつ、「悪質商法撃退」をテーマに、消費者トラブルの最新情報を学び、最後は、消費者講座として東京都の消費者問題を楽しく学ぶ出前寄席！漫才「レンジ」でボンッ！～製品事故にご用心～を実施した。

開催日 令和7年3月14日 参加者33人

会場 文化会館たづくり12階 大会議場

目的 消費生活に役立つ内容の講座を開催して豊かな生活を目指す

(3) 消費者啓発用パンフレット等の作成

消費生活に関する正しい知識の啓発と消費者被害を未然に防止するため、パンフレットや冊子を作成・配布し、啓発に努めるもの

ア 「くらしの豆知識（2025年版）」 1,500部

イ 「生活ひとくちメモ2025」 3,000部

(4) 成年年齢引き下げに伴う啓発

成年年齢引き下げ啓発チラシ

「18歳から大人！！成年年齢が引き下がると何が変わるの？！」を作成し、市内都立及び私立高校7校の2年生を対象に、1,520枚配布した。

学校名	配布数
都立調布北高等学校	246
都立調布南高等学校	246
都立神代高等学校	328
晃華学園高等学校	148
明治大学附属明治高等学校	287
桐朋女子高等学校	180
ドルトン東京学園 高等部	85

(5) 調布市消費啓発用キャラクター「チー坊」

令和6年3月27日付で消費者庁長官から消費者教育推進大使の委嘱（継続）を受け、環境フェア内フードドライブ、市内小・中学校出前授業等に参加した。

(6) 調布市消費者安全確保地域協議会の活動

市民の消費者被害の未然防止及び拡大防止を図るため、市民が安心して生活できるよう、見守りネットワーク会議に参加し、消費者被害防止の啓発を行った。

(7) 食品ロス削減の取組

市内事業者（調布パルコ、トリエ京王調布）と連携しながら、調布市消費者団体連合会及び調布市社会福祉法人地域公益活動連絡会と協力し、フードドライブを年3回実施した。集まった食品は、市内の子ども食堂、フードバンク調布、福祉施設等に配布した。

第1回 令和6年6月8日（環境フェア内） 集まった食品数 551個

第2回 令和6年10月30日 集まった食品数 1,300個

第3回 令和7年2月20日 集まった食品数 889個

4 生涯学習推進事業

予算科目(款・項・目) 10・35・19 [決算書149ページ]

市民の自主的な学習活動を支援することを通して、参加と協働のまちづくりを推進し、市民の生涯学習活動への参加促進及び団体活動の活性化を図るもの

(1) 調布市生涯学習推進協議会の開催

ア 概要 調布市生涯学習推進協議会条例に基づき、必要な生涯学習事業及び生涯学習施設の在り方について検討協議し、答申するもの

イ 委員構成等 有識者(1人)、大学(1人)、団体・NPO等(4人)、市民(1人)、調布市文化・コミュニティ振興財団職員(2人)をもって組織 男5人、女4人

ウ 開催回数 1回

	実施月日	内容
第1回	11月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・調布市における生涯学習振興の基本方針(答申)を踏まえた調布市基本計画における施策の位置付けについて ・令和5年度の基本計画における施策評価(行政評価)について ・今後の生涯学習の振興に向けた諸課題について

(2) 生涯学習情報コーナー運営事務

専門職である調布市生涯学習まちづくり推進員が、市内で活動する各種サークル・団体情報及び講師情報を窓口、電話及びホームページで市民に提供するもの

ア 相談受付時間 午前9時から正午まで、午後1時から午後5時まで

イ 登録数

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
サークル・団体数(団体)	672	659	642
講師数(人)	81	81	72

ウ 相談件数 (単位:件)

令和4年度	令和5年度	令和6年度
858	863	830

エ サークルガイドブックの発行 2,000部

生涯学習サークルボランティアメニューはサークルガイドブックへ集約

オ 人材情報ガイドブックの発行 500部

カ 各種媒体を活用した情報発信

(ア) コミュニティFMによる情報提供

生涯学習や市民活動に関する情報を周知することで、市民の生涯学習や市民活動への参加を促進させることを目的として、調布エフエム放送で番組を放送した。

番組名 「生涯学習・市民活動のススメ」

放送日 毎週日曜日 午前11時50分から10分間

放送内容 みんなの広場展示紹介・サークル紹介・生涯学習情報、市民活動支援センター情報

放送回数 52回(年間)

(イ) 生涯学習情報コーナーウェブサイトによる情報提供

地域情報発信の中心となる役割を担う「ちょうふ地域コミュニティサイト(ちょみっと)」との連携を図りながら、生涯学習情報専用ページ「生涯学習情報コーナー」で生

涯学習に関する情報提供を行った。

(ウ) 市公式SNSによる情報提供

市公式X, LINE等のSNSを活用し、主に地域デビュー事業等の生涯学習に関する情報発信を行った。

(3) 地域デビュー事業の実施

シニア層及び地域活動への参加を希望する市民を対象に、地域活動参加のきっかけづくりを支援し、市民のまちづくり活動を推進させることを目的として、地域デビュー推進委員会と連携して各種事業を実施した。

講座名	実施月日	会場	参加者数(人)
調布で踏み出すはじめの一步	10月5日	文化会館たづくり 大会議場	54
ボランティアデビューしませんか?	1月25日	文化会館たづくり 1002学習室	32
サークルデビューしませんか?	2月24日	文化会館たづくり 大会議場	30

(4) 生涯学習サークル体験事業の実施

市民が生涯学習の楽しさを知り、地域との関わりを持つ機会を提供することを目的として、新たにサークル活動を始める方への支援や団体活動の更なる活性化に向けた取組を行った。体験者を受け入れるサークルの活動について市報で参加者を募集した。

参加団体 26サークル

参加申請者 78人

(5) 生涯学習出前講座の実施

総講座数 市役所編141講座(子ども向け講座27講座を含む。)

実施状況 108件

(6) 市民が主役のまちづくり大学事業

大学・地域・行政の連携に関する市民の認識を深め、これからの魅力あるまちづくりにおける市民の積極的な参加の促進などを図るもの

ア 各大学等との連携

電気通信大学との共催により、平成29年度から実施しているサイエンスカフェ

Chofuを全4回開催した。令和6年度は、全て対面とオンライン併用で開催した。

開催回	実施月日	テーマ	講師	参加者数(人)
第32回	6月8日	研究の歴史からみるAI 過去未来	土屋 英亮教授(電気通信大学 情報基盤センター)	53
第33回	10月12日	合成化学者から見た抗 癌剤	牧 昌次郎教授(電気通信大学 大学院 情報理工学研究科 基礎理工学専攻)	32
第34回	12月14日	変形ロボットと多機能 ロボット	木村 航平助教(電気通信大学 大学院 情報理工学研究科 情報学専攻)	33

第35回	2月8日	都市の概念を書き換える～事例を通して考える「リアリティのある未来」の描き方	上野 真氏(国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA) 航空技術部門 航空システム 研究ユニット)	32
------	------	---------------------------------------	--	----

イ 市報ちょうふ「相互友好協力協定締結大学の市民対象の事業紹介」掲載

毎月5日号の市報ちょうふに大学が実施する市民対象事業の紹介記事を掲載した。

また、同内容をホームページ及び生涯学習情報専用ページ「生涯学習情報コーナー」にも掲載した。

(7) みんなの広場運営事務

市民、生涯学習・市民活動団体が、自由に生涯学習活動を行う場を提供するため、文化会館たづくり11階のみんなの広場（打合せや展示スペース）の貸出しをするもの

ア 運営概要

利用時間 午前9時から午後9時30分まで

用途 打合せ・作業，作品展示

対象 生涯学習・市民活動団体，市民グループ，個人学習

イ 利用状況

(ア) 打合せ・作業等

活動分野 年度	活動分野										合計
	社会 福祉	教育・文化 ・スポーツ	国際 交流	まち づくり	環境 保全	保健 医療	行政	その他	個人 学習		
利用団体数 (団体)	4	209	1,387	177	68	27	6	33	157		2,064
	5	220	1,694	205	79	24	4	46	243		2,515
	6	203	1,672	304	92	62	3	40	164		2,540
利用人数 (人数)	4	1,110	6,680	501	390	141	27	140	555	150	9,694
	5	1,260	8,528	599	402	137	14	149	781	418	12,288
	6	1,263	8,496	956	426	343	17	149	474	535	12,659

(イ) 作品展示

年度		合計
利用団体数 (団体)	4	20
	5	16
	6	18
利用延べ日数 (日)	4	122
	5	110
	6	125

※ 利用延べ日数には、準備のために利用した日を含む。利用団体数及び利用延べ日数は、展示の初日が属する月で集計した。

(8) 相互友好協力協定大学連携事業

京王線連続立体交差事業により創出された線路跡地における文化発信ゾーンの整備において、同ゾーンに設置した音楽遊具から流れる音源について、桐朋学園大学に委託し、次のとおり作成した。

- ア ミュージックボール 4曲
- イ ジャンプストーン 4曲
- ウ オーディオセンス 4曲

5 調布市グリーンホール 予算科目(款・項・目) 10・35・30 [決算書153ページ]

グリーンホールは、大小2つのホールを擁し、文化芸術企画の提供と市民文化活動の拠点として使用されているもの

平成18年度から、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団が指定管理者として管理運営しており、令和元年度からは指定管理期間を新たに10年間とした。

(1) 施設使用状況

2施設、稼働日308日、1施設当たり使用可能単位924単位

年 度		大ホール	小ホール	合 計
使用件数 (件)	4	792	775	1,567
	5	746	757	1,503
	6	791	831	1,622
稼働率 (%)	4	86	84	
	5	80	82	
	6	86	90	
来場者数 (人)	4	107,650	28,024	135,674
	5	118,513	28,379	146,892
	6	156,947	39,076	196,023

(2) 施設整備に関する取組

令和5年度に引き続き、新たなグリーンホールの整備及び運営に関する専門的知見を有するコンサルタントからのアドバイザー支援を受け、ホール機能及び規模の検討を行うとともに、市民や施設利用団体等の意見を踏まえ、ホールを核とする新たな施設整備に向けた市の考え方である基本構想を取りまとめるに当たり、専門的な見地から検討・助言をいただくことを目的とした「新たなグリーンホールの整備に向けた専門家検討会議」を開催した。

ア 新たなグリーンホールの整備に向けた専門家検討会議の開催

(ア) 概要 新たなグリーンホールの整備に向けた施設整備の基本構想策定に向けて、施設利用者や広く市民の意見を踏まえ、必要な事項を調査検討するもの

(イ) 委員構成等 建築・設計(1人)、文化政策(1人)、共生社会(1人)、音楽(2人)、映画・映像(1人)、演劇・舞踊(1人)、舞踊・共生社会(1人)、都市計画(1人)、経営・運営(1人)をもって組織 男8人、女2人

イ 開催回数 1回

	実施月日	内容
第1回	3月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなグリーンホールの整備に向けた検討経緯, 整備に向けたスケジュールについて ・グリーンホール及び市内文化施設, 近隣類似施設について ・新たなグリーンホールの整備に向けた専門家検討会議の進め方

(3) 施設工事・改修状況

ア 受変電設備更新

イ 空調フィルター交換作業

6 調布市文化会館たづくり

予算科目(款・項・目) 10・35・35

[決算書153ページ]

文化会館たづくりは、文化芸術、コミュニティ活動及び生涯学習の拠点施設として種々の事業を実施しており、市民はもとより大勢の人々に使用されているもの

平成18年度から、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団が指定管理者として管理運営しており、令和元年度からは指定管理期間を新たに10年間とした。

(1) 入館者等の状況

月	区分	入館者数(人)		使用台数(台)	
			(うち図書館)	駐車場	駐輪場
4		110,585	38,384	3,878	8,474
5		118,139	39,962	4,093	9,587
6		117,268	41,575	4,290	9,366
7		124,842	44,971	4,732	10,201
8		119,330	46,279	4,677	10,267
9		112,455	40,874	4,323	9,126
10		130,702	41,150	4,442	10,086
11		133,837	40,820	4,334	9,900
12		119,288	37,341	3,959	8,877
1		116,231	39,254	3,997	8,813
2		106,370	30,396	3,751	7,916
3		116,560	54,474	4,556	8,030
合計	4年度	1,425,217	477,306	43,896	102,620
	5年度	1,465,658	480,424	49,471	111,360
	6年度	1,425,607	495,480	51,032	110,643
月平均	4年度	118,768	39,776	3,658	8,552
	5年度	122,138	40,035	4,123	9,280
	6年度	118,801	41,290	4,253	9,220

(2) 施設使用状況

ア ホール系

6施設、稼働日331日、1施設当たり使用可能単位993単位

区分 年度		くすのき ホール	むらさき ホール	大会議場	映像 シアター	ギャラリー		合計
						南	北	
使用 件数 (件)	4	152	708	279	506	753	795	3,193
	5	876	961	735	696	840	837	4,945
	6	930	950	747	592	819	789	4,827

稼働率 (%)	4	96	94	70	69	76	80
	5	88	96	74	70	84	84
	6	94	96	75	60	82	79

※ みんなの広場の利用状況は、「4(7) みんなの広場運営事務」において掲載。

イ 諸室系

34施設、稼働日331日、1施設当たり使用可能単位993単位

区分 年度		リハーサル室	音楽練習室 (4室)	研修室	和室 (3室)	学習室 (小2室)	学習室 (大2室)
使用 件数 (件)	4	681	3,499	779	1,492	1,443	1,534
	5	930	3,683	758	2,113	1,432	1,564
	6	949	3,741	799	2,102	1,420	1,561
稼働 率 (%)	4	90	88	78	50	73	77
	5	93	92	76	71	72	79
	6	96	94	80	71	72	79

区分 年度		調理実習室	談話室	会議室 (小9室)	会議室 (大2室)	茶室	創作室 (2室)
使用 件数 (件)	4	368	324	6,709	1,482	314	1,131
	5	435	373	7,189	1,496	393	1,113
	6	411	374	7,023	1,480	321	1,197
稼働 率 (%)	4	37	33	75	75	32	57
	5	44	37	80	75	39	56
	6	41	38	79	75	32	60

区分 年度		暗室	スタジオ	保育室 (3室)	合計
使用 件数 (件)	4	130	525	691	21,102
	5	130	530	596	22,735
	6	201	498	701	22,778
稼働 率 (%)	4	13	53	70	
	5	13	53	20	
	6	20	50	24	

※ 編集室はビデオ等の編集に使用する場所で、部屋のみ貸出しは行っていないため施設使用状況には含めていない。

ウ 個人学習室

(単位：人)

区分 月		一般学習室	社会人学習室	合計
合計	4年度	86,207	28,993	115,200
	5年度	96,692	30,175	126,867
	6年度	100,459	29,344	129,803

エ 図書館

(単位：人)

区分 月		1階	4階	5階	利用支援 コーナー	視聴覚 資料室	合 計
		合 計	4年度		334,292	120,388	2,724
5年度			327,053	132,449	3,054	17,603	480,159
6年度	14,502		324,394	138,793	3,141	14,650	495,480
月平均	4年度		27,858	10,032	227	1,701	39,818
	5年度		27,254	11,037	255	1,467	40,013
	6年度	7,251	27,033	11,566	262	1,221	47,333

※ 資料提供：図書館

※ 1階予約本受取コーナー設置は令和7年2月のため、月平均は2・3月の22か月の平均

(3) 施設工事・改修状況

- ア 1階生涯学習情報コーナー個別空調設置工事
- イ エントランスほか点字ブロック等改修工事
- ウ 3段式機械駐車場吊チェーン・スプロケット更新
- エ 庁用車用充電設備設置工事
- オ 音声案内装置設置工事
- カ 受変電設備電源切替装置修繕設計

(4) 設備更新型ESCO事業

省エネルギー効果を見込み、空調熱源の更新及びエレベーター等の改修を行った設備更新型ESCO事業について、令和5年度に引き続き、設備更新後の効果検証を含む省エネルギーサービスの提供を受けた。

省エネルギーサービス提供期間 令和4年5月1日から令和14年3月31日まで

7 文化・コミュニティ振興財団補助（事業） 予算科目（款・項・目）10・35・35

〔決算書153ページ〕

公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団に対し、財団が行う自主事業等に対する補助金を交付するもの

(1) 共催事業

(単位：人)

事業名	実施月日	会場	参加者又は 視聴者数	事業内容
調布国際音楽祭2024	6月15日 ～23日	文化会館たづくり、グリーンホール、せんがわ劇場、深大寺、神代植物公園、布多天神社、調布パルコ、トリエ京王調布	延べ 15,833	世界で活躍するアーティストによるコンサートのほか、キッズコンサートや桐朋学園大学の学生による公演、深大寺本堂でのコンサートなどを開催するもの

調布よさこい2024	8月24日		延べ 18,000	よさこい踊りを通じて、踊り手、来場者及び地元商店会等の地域住民の交流を図ることを目的に開催するもの
映画のまち調布シネマフェスティバル2025	2月7日～3月2日	文化会館たづくり, グリーンホール, イオンシネマシアタス調布	延べ 51,573	市内の映画・映像関連企業, 団体と連携し, 作り手にスポットを当てた映画祭として開催するもの 市民投票と選考委員で選定する「第7回映画のまち調布賞」の授賞式のほか, 投票上位作品の上映, 関連展示等を行った。 市民投票総数 13,695票

8 せんがわ劇場

予算科目(款・項・目) 10・35・40 [決算書155ページ]

せんがわ劇場は、市民の舞台芸術の創造及び発信の拠点、身近に文化芸術に触れる機会を提供する場として使用されているもの

令和元年度から、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団が指定管理者として管理運営しており、令和6年度からは新たに5年間とした。

(1) 施設使用状況

2施設、ホール、稼働日347日、使用可能単位1,041単位

リハーサル室、稼働日347日、使用可能単位1,041単位

年 度		ホール	リハーサル室	合 計
使用件(件)	4	594	502	1,096
	5	874	864	1,738
	6	961	980	1,941
稼働率(%)	4	91	89	
	5	92	83	
	6	92	94	
使用可能単位 (単位)	4	654	565	
	5	954	1,044	
	6	1,041	1,041	

(2) 施設工事・改修状況

ホール廊下個別空調設備設置工事